

日本海沿岸東北自動車道

「朝^{あさ}日^ひまほろば～温^{あつ}海^み」WG

意見聴取の方法について

国土交通省 東北地方整備局 酒田河川国道事務所
北陸地方整備局 新潟国道事務所

平成23年10月12日

目 次

1. 意見聴取の方法	・・・ 2
【参考】 アンケート配付・回収箇所	
【参考】 意見聴取対象範囲	
2. アンケート調査項目の考え方	・・・ 4
3. アンケート調査項目	・・・ 5
4. 今後の想定スケジュール	・・・ 6

1. 意見聴取の方法

1

● 意見聴取にかかる広報（予定）

- | | |
|-----------|---|
| ①新聞広告 | ⇒ 山形新聞、荘内日報、新潟日報へ広告を掲載。 |
| ②自治体広報誌 | ⇒ 鶴岡市、村上市広報誌へ案内を掲載。県の広報へ案内の掲載。 |
| ③ポスター、チラシ | ⇒ 市役所、支所、道の駅にポスターを掲示。県の出先にチラシを設置。 |
| ④ホームページ | ⇒ 国、県、市のHPに案内バナーを掲示し、新潟国道事務所HPのアンケートページに誘導。 |
| ⑤その他 | ⇒ 新潟県のTV、ラジオスポット枠を活用し、お知らせを放送。 |

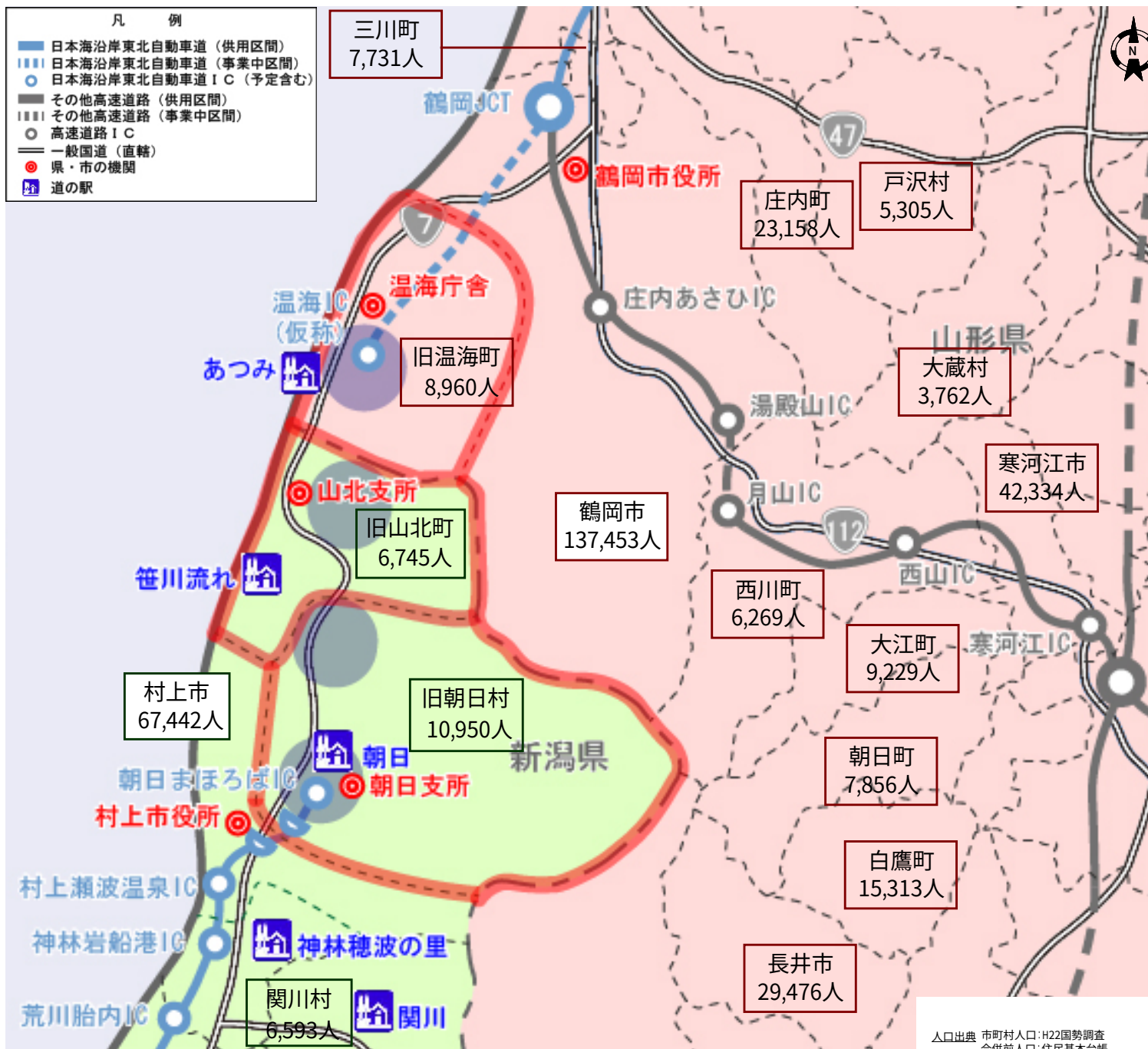
● 意見聴取方法

○：アンケート票配付 ▲：周知

対 象	地域住民等				企 業 等	
		当該区間通過地域 (旧温海町・旧朝日村 ・旧山北町)	当該区間の市 (鶴岡市・村上市)	その他	利用が想定される物流会社、 商工会議所、救急医療施設、 観光協会、公共交通機関、 物販会社、農業漁業関係者等	
実施主体	国土交通省・新潟県・山形県・村上市・鶴岡市					
広 報 ・ 意 見 聴 取 方 法	チ ラ シ ・ ア ン ケ ー ト	説明会 11月頃	○ (鶴岡市・村上市合計5会場) ※温海・府屋・寒川・北中・朝日を想定	—	—	直接ヒアリング ※抽出企業、件数は道路利用 企業や開通の影響が想定 される企業等を幅広く選定
		市の広報誌	○ (市の広報誌と同時に全戸配付)	▲ (市の広報誌を見た方)	—	
		県の広報媒体 (新聞、TV、ラジオ)	▲ (県からのお知らせを視聴した方)	▲ (県からのお知らせを視聴した方)	▲ (山形県・新潟県内で県からの お知らせを視聴した方)	
		新聞広告	▲ (新聞広告を見た方)	▲ (新聞広告を見た方)	▲ (山形県・新潟県内で 新聞広告を見た方)	
		市役所・支所・道の駅 (投函BOX設置)	○ (市役所等に立ち寄った方)	○ (市役所等に立ち寄った方)	○ (市役所等に立ち寄った方)	
		Webアンケート	○ (関係機関HPなどで情報を得た方)	○ (関係機関HPなどで情報を得た方)	○ (関係機関HPなどで情報を得た方)	
回収方法	・ポスト、投函BOXへ投函 ・Web上で回答					—
実施時期	11月頃 (1ヶ 月 程 度)					11月頃

【参考】アンケート配布・回収箇所

2



【配布先】

道の駅	約1,000部
笹川流れ	
朝日	
神林	
関川	
あつみ	
市役所等	約1,000部
村上市役所	
山北支所	
朝日支所	
鶴岡市役所	
温海庁舎	
地域住民	約9,000部
旧朝日村	
旧山北町	
旧温海町	
計	約11,000部

※配布部数は、今後調整

※国等の出先機関へも配布予定。

【参考】

新潟県分 約7,000部

山形県分 約4,000部

【参考】意見聴取対象範囲

3

● 対象範囲

ルート検討区間沿線集落

対象エリア：山形県旧温海町、新潟県旧朝日村、旧山北町

日治道整備の影響を大きく受けるため、意見聴取実施が必須となるエリア



● チラシ・アンケート配布先

① チラシ

説明会開場、市の広報誌、市役所（支所・庁舎）・道の駅などに配置

※国等の出先機関へも配布予定。

② アンケート

説明会開場、市役所（支所・庁舎）・道の駅などに配置（投函箱・郵送により回収）

新潟国道事務所WEBサイト上でHPアンケート

※その他の関係機関については、バナーにより誘導

配布部数

意見聴取対象範囲		人口(人)	世帯数(世帯)
新潟県	旧朝日村	10,950	3,153
	旧山北町	6,745	2,433
新潟県側 計		17,695	5,586
山形県	旧温海町	8,960	2,987
新潟県・山形県 計		26,655	8,573

凡 例

- 300人未満
- 300～500人以上
- 500人以上

※出典：村上市・鶴岡市住民基本台帳（H23.4.1現在）

2. アンケート調査項目の考え方

●地域等の意見を聴取するに当たって、以下の考え方でアンケートの項目を設定

■道路整備の必要性に関するニーズの把握

(1) 道路整備 → 新たな道路整備に関する意見

■新たな道路整備に関するニーズの把握

(2) 最適ルート帯 → ①ルート帯選定にあたっての着眼点に関する意見
→ ②各ルート帯に関する意見

(3) 現道活用 → 現道活用案に関する意見



■上記を把握に併せて、回答者の認識を把握しておくべき項目

(1) 現道交通問題 → 現道の交通問題に関する認識・意識の把握

(2) 新たな道路の役割 → 重要と考える道路の役割に関する意識の把握



■道路利用者の特性による回答の差違を確認するために必要な項目

道路利用者の特性 → ①住所・年齢(免許の有無)
→ ②道路の利用頻度
→ ③道路の利用目的

■アンケート調査項目と活用方針

アンケートにより 明らかにしたい 項目	アンケートの質問	アンケート結果の活用																		
道路利用者 の特性	住所	回答結果に差違が見られた場合、以下の分類等で分析することが必要。 <table><tr><td>住 所</td><td>年 齢</td><td>免許の有無</td><td>利用頻度</td><td>利用目的</td></tr><tr><td>地域住民</td><td rowspan="2">年齢層別 (若年・高齢者別 など)</td><td>ドライバー</td><td>よく利用</td><td>旅客(人流)</td></tr><tr><td>その他</td><td>その他</td><td>たまに利用</td><td>貨物(物流)</td></tr></table>					住 所	年 齢	免許の有無	利用頻度	利用目的	地域住民	年齢層別 (若年・高齢者別 など)	ドライバー	よく利用	旅客(人流)	その他	その他	たまに利用	貨物(物流)
	住 所						年 齢	免許の有無	利用頻度	利用目的										
	地域住民						年齢層別 (若年・高齢者別 など)	ドライバー	よく利用	旅客(人流)										
	その他							その他	たまに利用	貨物(物流)										
	年齢																			
免許の有無																				
道路の利用頻度																				
道路の利用目的																				
現道の交通問題	現道の交通問題に関する 認識・意識の把握	現実として起きている事象について、回答者の認識（課題として捉えているか？）を確認し、回答者の考える現道の課題を把握することが必要。																		
道路整備	新たな道路整備に関する 意見	新たな道路整備が必要と感じているか否かについて把握することが必要。 （不要とする回答者には、その理由を確認する。）																		
新たな道路の役割	重要と考える道路の役割 に関する意識の把握	回答者が考える政策目標の優先度を把握し、小委員会での議論の参考とする																		
最適ルート帯	ルート帯の選定にあたっ ての着眼点に関する意見	ルート選定にあたって、回答者が重要視する観点を把握する。																		
	各ルート帯に関する意見	各ルート帯について、回答者が望ましいと考えているルートを把握する。																		
現道活用	現道活用案に関する意見	現道活用案について、回答者の認識を把握する。																		
その他意見	自由回答	その他、日沿道に関する意見を聴取し、今後の作業の参考として活用する。																		

平成 23 年 9 月15日	東北・北陸地方合同小委員会(1回目)
平成 23 年 10 月12日	日沿道WG (アンケート実施前)
平成 23 年 11 月頃	地元説明会、アンケート等実施
平成〇〇年〇〇月	日沿道WG(アンケート実施後)
平成〇〇年〇〇月	東北・北陸地方合同小委員会(2回目) ・説明会、アンケート結果の報告 ・対策案の評価



対応方針の決定